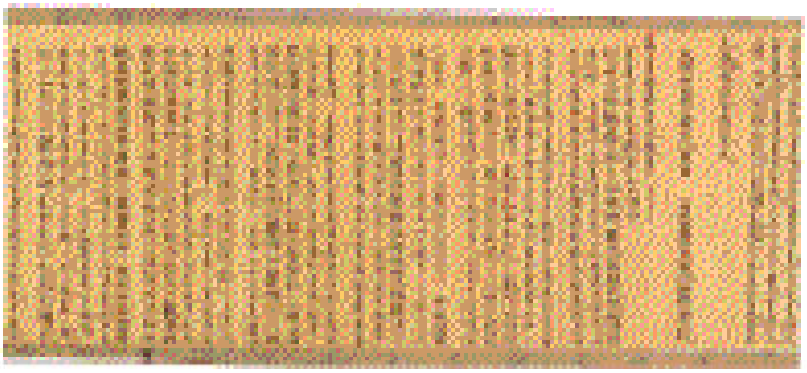
大慈廣慧禅寺方丈翰縁疏　一巻

【所　在　地】志布志市志布志町志布志２－１－19　大慈寺
【種　　別】県指定有形文化財（書跡）
【指定年月日】昭和 28 年９月７日



翰縁疏は一般に言う勧進帳（社寺の修繕などのため金品を募り集める趣旨を記した文書）である。大慈寺の方丈（寺院内の僧の住居）が雨漏りし，またがけ崩れにより壊れたため，その修造（修理）のため文明 12（1480）年に寄付を求めるために作られた趣意書である。

大慈寺開山（創立者）玉山和尚の伝記と寺の由来をのべている。幅 34.4cm，黄色の紙を用い，もとは折本（用紙を巻かずに一定の幅で折りたたんだ本）で 10 面であったが，現在は「即宗庵修造化縁籍」（大慈寺と密接な関係にあった京都東福寺塔頭即宗庵の修造に関する寄附の趣意書）とを継いで一巻としてある。